

大人・地元との接続を意識して 「志」を育てるキャリア教育

①



三重県立津高等学校

進路指導部 上村 和弘

2014.2.21

キャリア教育デザイン

②

我々が今、大切にしたいと思っている2つの意識
キャリア教育 + 授業

日常型キャリア教育

それによってつけたいと思っている力
基礎学力 + 人間力

学び続ける力

周りと繋がる力

高校3年間は… 大人の20年間分に匹敵する
だからこそ… 「妥協せず」「濃く」

津高が目指す教育

③

生徒の「志」を大切に
した「進路指導」

リーダーとしての資質
「人間力」の育成

高い知性と
教養をもった
リーダーの育成

津高校の進路指導方針

1. 三兎を追え 2. キャリア教育デザイン

学校生活そのものがキャリア教育

④

- 授業の中でもキャリア教育
- 受験もキャリア教育
- キャリア教育で学校生活を「濃く」
- 本物に触れる
- 多彩な活動から自分で選択する



三兎を追う
学習(受験勉強)
部活動・学校行事
本物の体験

をやり切る
ことにより

たくましくしなやか
な心と世のため人
のためという志を
持った人間に。



キャリア教育を踏まえた授業

5

アクティブラーニング
論理的思考力・発信力の育成

教員が主体

Teaching

生徒が主体

Learning

教員は Coaching の視点を持って...



授業では、発問がPOINT！

6

～3パターンの発問～

パターン 前回授業の復習・宿題の答合せ

パターン これまでの知識の確認

(以前学んだ知識・他科目・

他教科の知識・小中の知識・遊びによる知識 etc)

単元を超えた
知識の結合

興味喚起 知識活用能力 気づき
自己の理解を相対化 知識獲得とその活用の連携
知識を使って表現する時間

授業では、発問がPOINT！

7

パターン 知識活用能力・論理的思考力・考察力
を育む(と願う)ための発問



この力はキャリア教育と一緒に

こういう生徒対策

暗記は得意だが記述式は苦手 な生徒

A = B でないと苦手 な生徒

データ問題は苦手 な生徒

作文(論述・発信)は苦手 な生徒

授業の目標

8

学力向上：『主体的』に『本質』を学ばせる。
キャリア教育：学校のメインは『授業』なら、
本来、すべて『授業』ですべきだ。
よって...

『授業』が『キャリア教育』だ



大学別グルーピング

9

- 東大・京大・阪大・名大・医学科 を組織
- 神戸・北海道・一橋・東京外大などが自然発生
- 学習計画を立案 教員はコーチ
- ライバルであり支えあう仲間
- 教えることが
自分の強烈な学びに
- 志望が強くなる
浪人しても貫く
- 大学入学後も
強い絆で結ばれる



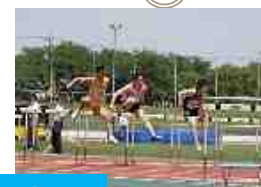
連絡掲示板

部活動・学校行事の充実

10



部活動



学校行事



自主運営の生徒会活動
自主自律の伝統 津高生の行動力

自分探し企画 H25夏

11

- | | |
|-----------------|-----------|
| 東大キャンパスツアー | 7月19日20日 |
| 三重大 医学科一日体験 | 8月23日 |
| 紀南病院 訪問(地域医療) | 8月3日・10日 |
| 三重大 サマーセミナー | 8月上旬 |
| 一日看護体験 | 8月2日3日 |
| 作業療法体験 | 7月31日 |
| 地域が応援する高校生セミナー | 8月8日 |
| 裁判所・検察局訪問(裁判傍聴) | 8月6日 |
| NHK津放送局 見学 | 7月31日 |
| 東北ボランティア(東松島市) | 8月20日~23日 |

自分探し企画 就業体験

12



ホテルのレストラン業務

インターンシップ

NPOとの
連携による



クリニックで看護体験



電力会社で密着

仕事密着体験
(ジョブシャドウ)



県庁で密着

進路指導の課題

⑬

- 1年生で進路希望をとると、医者50人 教員80人。
- 働く大人の姿がイメージできていない状態のまま、進路選択を強いられている。
- 大学入試が目的ではない。『志』を成就することが目的であり、大学はその達成のための手段だ。

どうする … ?

教員一人ひとりがキャリア教育の主体者として、生徒の勤労観・職業観・人生観などを培うという視点で教育活動に取り組む。

地元の大人と出合わせる

⑭



医師 (地域医療)



企業社長・大学教授 etc



弁護士

地域医療 視察 (神島)

11月10日 3年生 医学科志望者 12名 参加









文系キャリアプロジェクト

⑮

- 三重大学西村訓弘教授の指導のもと、月1回大学のゼミを高校で実施。(H23年度～、3年目)
- 『答え』のない問題を考える。本物に触れる。
- 大人にダメ出しを受ける。リアルに考え、体験する。



H23年度 20名参加
『地元商店街の活性化を考える』



H24年度 22名参加
『地域の活性化プランを考える』

H25年度 文系キャリアプロジェクト

⑯

テーマ 『20年後の三重を創る』

- 19名(1・2年)が参加。
- 20年後の三重県をどうしたいか？どうあってほしいか？そのために自分たちは何ができるのか？
- 大台町役場 & 多気町役場とコラボレーション。
- 考える課題は、全国の地方でも起こっている。
- これから求められる公務員像も考察。
- H26年3月6日に知事に提言書を提出予定。



町職員の講演

大学入学はゴールではない

17

- 10年後・20年後の社会を支える人材を育成したい。
- 地元を愛する人材を育成したい。
- よく言われること 「進路指導」は「生活指導」

仮説

キャリア教育の充実によって
難関大志望者は必ず増える

浪人生の数の
変化に…

受験を通じてつけさせたいスピリッツ

不戦敗しない

受験でチャレンジ精神を鍛える

18

- 人間力(土台)が整って、本物の学力(見える部分)が備わる。
- 「学びたい」から「ガツガツ学ぶ」状態に。
- 学校生活中で何か一番を目指す。(1番になった)経験を積ませたい。
- 能動的学習者は能動的学習体験を通じて育つ。



放課後の自習



卒業生座談会

津高のキャリア教育イメージ

19

本物の大人と出会い
地元を軸足を置き、世界を観る

ブレイクスルーのキーワード

自覚 & 自立

地域に必要とされる学校であり続けたい

文部科学省指定(H25~27) 三重県立津高等学校 高等学校普通科におけるキャリア教育の実践に関する調査研究

20

仮説

大学や地域の事業所の研究者や職業人から世の中の様々な事象を学び、大学卒業後の社会を意識し、社会・職業を理解する場を設定することで、さらなる大志を抱き、学習意欲・進路意識を向上させる生徒が増加する。

